授業科目名・形態	リハビリテーション医療　講義	必修・選択別の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	田中　誠	実務経験	有	開講期	3年後期
科目ナンバリング	W5-3011　R				

「授業の主題」

この講義ではリハビリテーションとは障害者が人間らしく生きる権利を回復することであり、すなわち「全人間的復権」であることを理解する。またこれまでの豊富な実践例を参考文献の内容に当てはめ、理論の解説を講義としたい。さらには国家試験を視野に入れた講義も試みたい。

「到達目標」

1) リハビリテーションの理念を広い意味で理解する。
2) リハビリテーションの歴史を理解する。
3) 障害の概念について理解する
4) 国際生活機能分類（ＩＣＦ）について理解する。
5) リハビリテーションにかかわる専門職について理解する。

「授業計画・内容」

第　1回　リハビリテーションの理念ー全人間的復権としてのアプローチ
第　2回　リハビリテーションの源流から「リハビリテーション医学」の誕生まで
第　3回　日本におけるリハビリテーションの歴史
第　4回　リハビリテーション医学とは何か
第　5回　障害の概念と構造
第　6回　国際障害分類から国際生活機能分類へ　ＩＣＩＤＨ→ＩＣＦ
第　7回　「できる活動と」「している活動」
第　8回　リハビリテーションにかかわる専門職

「授業実施方法」 講義形式

「授業事前・事後」 前回の講義の復習をして講義に臨むこと、ノート書きした所をよく読んでおくこと

「主に関連する科目」 精神障害リハビリテーション学、障害福祉論

「教科書等」 特に指定せず。資料を配布

「参考文献」 障害を生きる者ーリハビリテーション人間観　進藤伸一著　秋田文化出版
リハビリテーションを考えるー障害者の全人間的復権　上田敏著　青木書店

「成績評価方法」筆記試験又はレポート 80%、授業態度２0%により総合して判断する。

「実務経験及び実務を活かした授業内容」

４０年以上の実務経験の中で、19 年間をリハビリテーション病院で障害者を援助していた。その経験を活かして、リハビリテーションの理念や障害者観を学生に伝えたい。

「学生へのメッセージ」

リハビリテーションは狭義の障害者だけではなく生活機能が低下した人（それは長期にわたる人であろうが妊婦のような一時的な人であろうが）を対象としている。したがって様々な人を対象にしているため、援助職を目指している学生として習得しておく知識である。